

# 角度を求める問題から？



**問題**  $\triangle ABC$  の辺  $BC$  上に、 $AB=CD$  となるように点  $D$  をとる。 $\angle ABD=24^\circ$ 、 $\angle BAD=30^\circ$  のとき、 $\angle ACB=x^\circ$  として、 $x$  を求めよ。

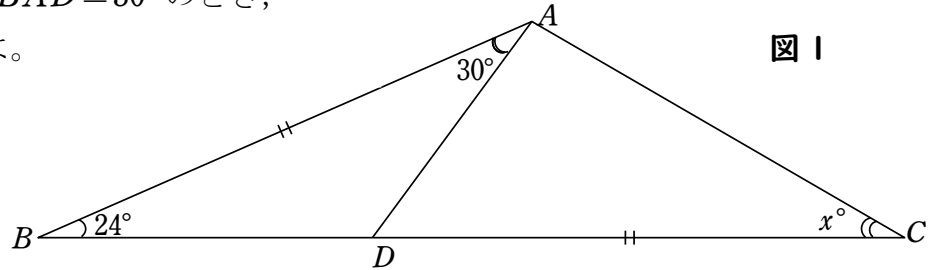


図 1

**解答 1** 図 2 のように、辺  $AB$  を 1 辺とする正三角形を辺  $BC$  側につくり、 $\triangle ABE$  とする。すると、 $\angle DBE = \angle DEB = 36^\circ$  となるので、 $BD, DE$  を 2 辺とする正五角形  $BDEFG$  をつくることことができる。ここで、 $AB = BE = AE = CD = DG = GE$  となる。 $\triangle DCG$  は、 $DC = DG$  の二等辺三角形で、 $\angle GDE = \angle CDE = 72^\circ$  より、 $DE \perp CG$ 、よって、 $\triangle ECG$  は、 $EC = EG$  の二等辺三角形となり、 $\angle GED = \angle CED = 72^\circ$ 、 $\angle FEG = 36^\circ$  だから、3 点  $C, E, F$  は一直線上に並ぶ。 $CD = CE$  より、 $\angle DCE = 36^\circ$ 、 $EA = EC$ 、 $\angle AEC = 72^\circ - 24^\circ = 48^\circ$ 、 $\angle ECA = \frac{180^\circ - 48^\circ}{2} = 66^\circ$ 、したがって、 $x^\circ = 66^\circ - 36^\circ = 30^\circ$  答

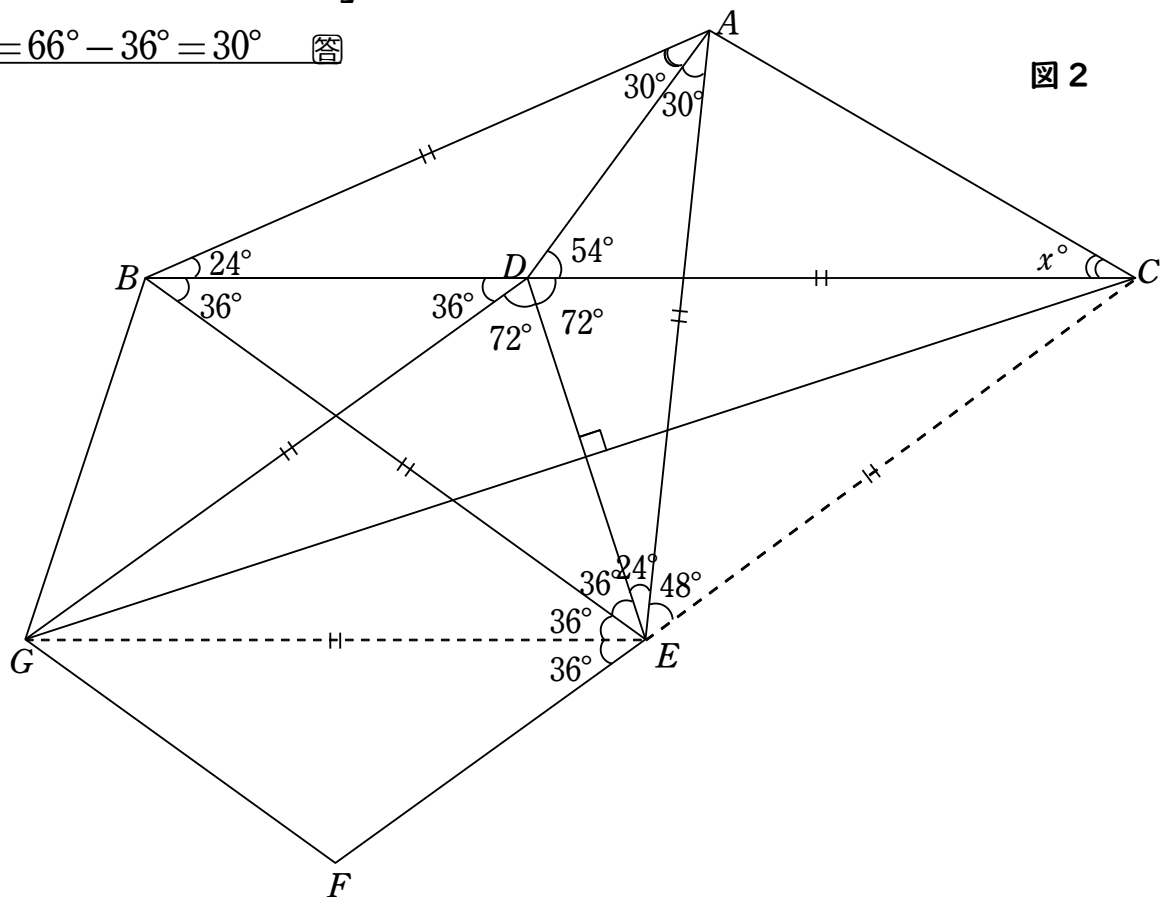


図 2

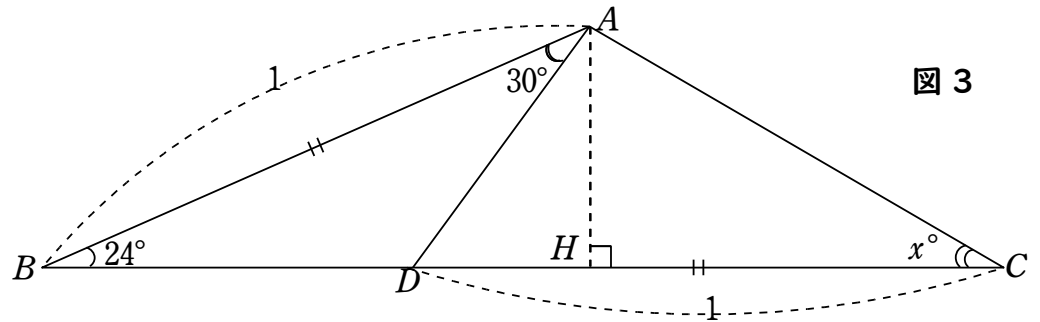


図 3

**解答 2**  $\frac{\sqrt{5}+1}{2} = \phi$  (黄金比) とおき,  $\cos 36^\circ = \frac{\sqrt{5}+1}{4} = \frac{\phi}{2}$  は既知とする。

図3のように,  $AB=CD=1$  としても一般性を失わない。△ABDで正弦定理より,

$$\frac{BD}{\sin 30^\circ} = \frac{1}{\sin 126^\circ} = \frac{1}{\sin 54^\circ} = \frac{1}{\cos 36^\circ}, \quad BD = \frac{1}{2\cos 36^\circ} = \frac{2}{\sqrt{5}+1} = \frac{\sqrt{5}-1}{2} = \phi - 1,$$

∴  $BC = \phi - 1 + 1 = \phi$  ……(\*), 点 A から辺 BC に垂線 AH を引くと,  $CH = \phi - \cos 24^\circ$ ,

$$AH = \sin 24^\circ = \sin(60^\circ - 36^\circ) = \frac{\sqrt{3}}{2} \cos 36^\circ - \frac{1}{2} \sin 36^\circ = \frac{\sqrt{3}}{4} \phi - \frac{1}{2} \sin 36^\circ,$$

$$CH = \phi - \cos(60^\circ - 36^\circ) = \phi - \left( \frac{1}{4} \phi + \frac{\sqrt{3}}{2} \sin 36^\circ \right) = \frac{3}{4} \phi - \frac{\sqrt{3}}{2} \sin 36^\circ = \sqrt{3} AH,$$

よって,  $\tan x^\circ = \frac{AH}{CH} = \frac{1}{\sqrt{3}}$ ,  $0^\circ < x^\circ < 90^\circ$  より,  $x^\circ = 30^\circ$  答

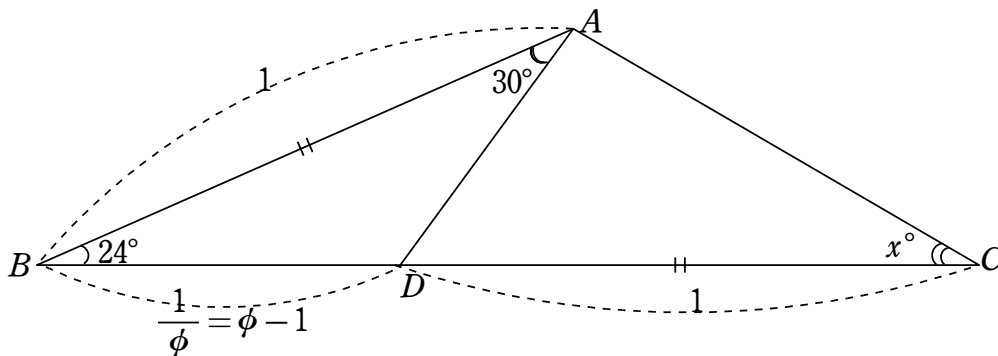


図 4

さらに, 画期的な解が生まれた。三角形の相似から一気に結論を導くものである。

**解答 3**  $BC = \phi$ , つまり(\*)までは, **解答 2** と同じとする。

$$BD = \frac{1}{2\cos 36^\circ} = \frac{1}{\phi} = \phi - 1, \quad \text{図4の } \triangle ABC \text{ と } \triangle DBA \text{ で,}$$

$$BC : BA = \phi : 1 = 1 : \frac{1}{\phi} = AB : DB, \quad \text{また, } \angle ABC = \angle DBA \text{ (共通),}$$

ゆえに, 対応する 2 組の辺の比が等しく, その間の角が等しいから,

$$\triangle ABC \sim \triangle DBA, \quad \text{したがって, } x^\circ = \angle ACB = \angle DAB = 30^\circ \quad \text{答}$$

**解説** 以前にたびたび紹介した「ラングラーの問題」でも「三角形の相似による解決」が最も洗練された解法であったが, 今回は「相似比=黄金比」という意外な秘密があった。